

事業報告

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

事業の経過及びその成果

平成23年度のわが国経済は、平成23年3月の東日本大震災による急激な落ち込みからは、持ち直しつつあるものの、雇用情勢、個人消費をはじめとして総じて低調に推移いたしました。

わが国の国内航空旅客数は、東日本大震災の影響により大幅に落ち込み、年央から回復の兆しはありましたが、前年度比3.8%の減少となりました。

当空港におきましては、年度初めは、東日本大震災の影響で乗降客の落ち込みがありましたものの、全日空の機材大型化に加え、昨年度に新規就航いたしました九州3便等の寄与により、平成23年度の神戸空港の乗降者数は、対前年度比で15.8%増加し256万人(搭乗率70.3%)となりました。

見学者数につきましては、開港6周年記念イベント等の魅力あるイベントの誘致に努力してまいりましたが、見学者の内訳が送迎客中心へと変化してきたことの影響で、対前年度比で29.1%減少し32万人となりました。

これらにより、旅客ターミナルビルの利用者総数は288万人、駐車台数は29万台、テナント各社の売上総額は1,675百万円となりました。

以上のような状況の中で、経費の削減にも努めた結果、当期の売上高は1,489百万円、営業利益は248百万円、当期純利益は98百万円となりました。

貸借対照表の要旨

(平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
流 動 資 産	1,373	流 動 負 債	644
固 定 資 産	5,148	固 定 負 債	3,243
有 形 固 定 資 産	5,140	退 職 給 付 引 当 金	0
無 形 固 定 資 産	0	原 状 回 復 費 用 引 当 金	22
投 資 そ の 他 の 資 産	7	そ の 他	3,220
		株 主 資 本	2,726
		資 本 金	1,726
		資 本 剰 余 金	423
		資 本 準 備 金	423
		利 益 剰 余 金	577
		そ の 他 利 益 剰 余 金	577
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 92
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 92
資 産 合 計	6,522	負 債 ・ 純 資 産 合 計	6,522

損益計算書の要旨

(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業収益	1,489
営業費用	1,241
営業利益	248
営業外収益	4
営業外費用	92
経常利益	160
特別利益	3
特別損失	0
税引前当期純利益	163
法人税, 住民税及び事業税	71
法人税等調整額	△ 6
当期純利益	98

23年度 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得価額
有形 固定 資産	建 物	5,075	7	-	253	4,829	1,533	6,362
	構 築 物	318		-	38	280	228	508
	工具器具備品	36	1	-	13	25	183	209
	建設仮勘定	-	5	-	-	5	-	5
	計	5,430	15	-	305	5,140	1,945	7,085

当期増加額の主な内容は以下のとおりであります。

1階バゲッジクレームLED化工事
コンコース増築基本設計業務等

建物
建設仮勘定

2 百万円
5 百万円